



200

通第11号様式(第13条第1項)

平成 25年度 補助事業等実績報告書

平成 25年 10月 7日

函館市長 工藤 壽樹 様

〒042-0942

住 所 北海道函館市柏木町 2-1NBS 3F
(電話番号) 0138-31-2132

補助事業者等

団体名 函館太極拳研究会

代表者氏名 理事長 沢谷

補助事業等の名称 函館太極拳研究会 函館市民太極拳交流事業

平成 25年 5月 10日付函企国をもって補助金等の交付の決定を受けた上記の補助事業等は、平成 25年 9月 30日完了したので、関係書類を添えて報告します。

補助金等交付決定通知額 金 200,000 円

補助金等領収済額 金 200,000 円

補助金等領収未済額 金 0 円

共通第3号様式（第3条第2項，第13条第1項）

補助事業等の計画（実績）書

名 称	函館太極拳研究会 函館市民太極拳交流事業
開 催 期 日	平成 25 年 8 月 11 日 ～ 平成 25 年 8 月 18 日
開 催 場 所	函館市市民会館・市民体育館
主催者・共催者 および後援者等	函館太極拳研究会
参 加 人 員	延べ 800 人 (うち外国人参加人数) 8 人
事業者の概要	設立年月日 1979年2月
	構成人数 100名
	団体の目的・主な事業 太極拳の研究と函館市民の生涯体育としての太極拳の普及、中国との国際交流、道内外の愛好者との交流を目的として、毎週1回の例会、月数回の研修会、年数回の特別研修会を通じて実施。
補助事業の内容	(具体的に記入すること) 中国西安市より太極拳宗家一名を招聘、函館市に12日間滞在しながら、研究会会員と函館市民を対象とする、太極拳特別講習会を市民会館・市民体育館を会場として16回開催した。
補助事業実施による効果	太極拳の宗家を招聘し講習を実施することで本物の太極拳に市民が直接接触れる機会が提供され、学習の興味が喚起された。愛好者の技術の水準が高まり、生涯体育としての函館市の太極拳人口の拡大とレベルアップの効果があつた。さらに日中友好が促進され、市民の中国文化への関心や理解を深める効果があつた。
備 考	

- (注) 1. この様式は、大会等の開催その他これに類する事業等に補助金等の交付を申請し、または、これに係る実績報告をする場合に使用すること。
2. 補助事業等の内容は、詳細に記載すること。(別紙も可)
3. その他必要と認められた書類を添付すること。

共通第4号様式（第3条第2項，第13条第1項）

補助事業等の収支予算（決算）書

収入の部

（単位： 円）

項 目	本年度予算額 (本年度予算額)	前年度予算額 (本年度決算額)	増 減	備 考
自己資金	380,000	88,210	△ 291,790	
事業収入	200,000	✓ 440,000	240,000	
函館市補助金	200,000	200,000	0	
合 計	780,000	✓ 728,210	△ 51,790	

支出の部

項 目	本年度予算額 (本年度予算額)	前年度予算額 (本年度決算額)	増 減	備 考
謝 礼	200,000	✓ 280,000	△80,000	
旅費・滞在費	365,000	✓ 337,950	27,050	
交流経費	175,000	✓ 84,820	90,180	
事務経費等	40,000	✓ 25,440	14,560	
合 計	780,000	728,210	51,790	

※実績報告の場合 収支差引額 0 円

- (注) 1. この様式は、補助金等の交付を申請し、または、これに係る実績報告をする場合に使用すること。
 2. 項目は、詳細に区分して記載すること。
 3. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。
 4. 内訳には、金額の算出基礎その他必要な事項を記載すること。
 5. その他必要と認めた書類を添付すること。

(共通第4号様式別添)

予算(決算)額内訳一覧

(収入の部)

(単位: 円)

項 目	本年度予算額 (本年度決算 額)	積算内訳	備 考
自己資金	ゝ 88,210	函館太極拳研究会特別事業費	
事業収入	ゝ 440,000	講習会費 @2,000×220人=440,000	
函館市補助金	200,000		
合 計	728,210		

- (注) 1. この様式は、共通第4号様式「収支予算(決算)書」を説明する添付書類として必ず提出すること。
2. 収入の部・支出の部それぞれ作成すること。
3. 積算額内訳欄には、具体的内容と金額の算出基礎等を詳細に記入すること。
4. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。

予算(決算)額内訳一覧

(支出の部)

(単位: 円)

項目	本年度予算額 (本年度決算額)	積算内訳	備考
謝礼	280,000	指導費 @¥200,000×1人=200,000 通訳費 @ ¥80,000×1人=¥80,000	
旅費滞在費	337,950	中国～函館 往復航空券×1人 ¥110,000 JR代金 ¥83,350 (新千歳→函館、函館→札幌、 札幌→新千歳、新千歳→ 函館、講師1人+通訳1人 +理事長+副理事長) 宿泊費(ホテル・二食付き) ¥123,600 函館9泊 ¥108,000 札幌2泊 ¥15,600 食費(昼食代) ¥21,000	
交流経費	84,820	会場使用料 16回 ¥65,920	
事務経費	25,440	懇親会費 ¥18,900 コピー代 -¥2,000 USBメモリー - ¥2,540 通信料(含む国際電話) - ¥900 ビデオ・写真撮影代 ¥20,000	
合計	728,210		

- (注) 1. この様式は、共通第4号様式「収支予算(決算)書」を説明する添付書類として必ず提出すること。
2. 収入の部・支出の部それぞれ作成すること。
3. 積算額内訳欄には、具体的内容と金額の算出基礎等を詳細に記入すること。
4. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。